

●事業の概要

この事業は、京都ライオンズクラブ50周年記念事業として「公益信託京都ライオンズクラブ地域社会奉仕活動助成基金」の助成を受け、社会福祉法人春日野園とNPO法人きょうとグリーンファンドが協力して、京都市伏見区醍醐にある春日野園に、市民共同で5kW規模の太陽光発電設備を設置するものです。

事業費は春日野園の資金のほか、きょうとグリーンファンド「おひさま基金（市民からの寄付）」・「公益信託京都ライオンズクラブ地域社会奉仕活動助成基金」からの助成金・独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）からの補助金で賄われました。

京のアジェンダ21フォーラム、京エコロジーセンター、京都府地球温暖化防止活動推進センターの後援、NPO法人気候ネットワーク、NPO法人環境市民の協力をいただきました。

設置後は、春日野園、きょうとグリーンファンドが協力して環境学習を進めていきます。

●発電所データ

設置場所：京都市伏見区日野
社会福祉法人 春日野園
設置日：2005年1月15日
発電能力：5kW規模
発電量：約5,000kWh/年
総事業費：838万円
寄付額：172件 約110万円
寄付募集期間：2004年7月3日
～2005年1月31日

●京都ライオンズクラブ

京都の環境を考えるNPOの皆さんの地道な活動を後押ししたいと思いました。私たちは、50周年記念事業の一環として「環境都市京都」のために地道に活動している団体を探していました。そこで、きょうとグリーンファンドの活動に興味を持ちました。単に寄付を募ってソーラー発電機を設置するだけでなく、設置後も環境教育を行い、人々に省エネ・節電や自然エネルギーの大切さを訴えておられるところに強く共感しました。また、大勢の市民に参加してもらいたいという考えをお持ちでしたので、私たちはその考え方に敬意を払い、資金の一部を補助することにしました。「おひさま発電所」は設置した施設から、その発電量に見合う金額をファンドに戻してもらおう仕組みなので、施設が増えるほど資金が戻ってきて、さらに「おひさま発電所」が増えていくという期待が持たれます。その初めの段階で少しでもスムーズに活動を行えるよう、お役に立ちたいと考えました。

●社会福祉法人 春日野園

多くの皆様方の暖かいご支援のもと、私共の保育園・春日野園もお陰様で30年を迎えようとしております。開園以来、子ども達を良い環境の中で育てたいと願い、職員と保護者が一体となって「にこにこ保育・いきいき保育」を保育の根幹にすえ、共に歩んでまいりました。「人（生命）」を大切にしよう、「もの」を大切にしよう、「自然」を大切にしよう、そんな保育の実践の中で、子どもは心身共に健康で豊かな感性のある人に育ってくれると確信しております。幸いにも本園は、豊かな土と緑があり、川遊びや生き物の観察が出来、生命の営みを肌で感じ取れる自然環境に恵まれております。次の時代を生きる子ども達には幼い頃から日々のあそびの中で、自然に親しみ、人や動植物や絵本等さまざまな出会いの中で、環境保護への理解を身につけ、深めてほしいと願っております。



社会福祉法人 春日野園

〒601-1425 京都市伏見区日野田中町16
電話：075-571-6111 FAX：075-573-5849
URL：http://www.kasuganoen.com/

特定非営利活動法人 きょうとグリーンファンド

〒600-8104 京都市下京区五条通り高倉西入る万寿寺町143
いづつビル6階
電話/FAX：075-352-9150
E-mail：grifan@h7.dion.ne.jp
URL：http://www.h3.dion.ne.jp/~kyoto-gf/

この冊子は、風力発電による自然エネルギーを使用して、大豆油インキで印刷しています。



2005年1月15日

いのちはぐくむ陽の光

春日野園に
おひさま発電所ができました!

はぐくみソーラープロジェクト



社会福祉法人春日野園 園長 澤井紀裕子

春日野園の屋上におひさま発電所を市民共同で設置し、環境学習の拠点にしようという主旨に、こんなにもたくさんの方にご賛同・ご協力をいただきまして、大変有難く感謝の気持ちでいっぱいでございます。
昭和50年に創立いたしました本園も、多くの方々のお力添えをいただきまして、お蔭さまで30周年を迎えようとしております。創設以来、子ども達をよい環境の中で育てたいと願いながら保育を進めて参りました。この度、多くの皆様・京都ライオンズクラブ様・きょうとグリーンファンドの皆様他、たくさんのサポーターの皆様より、太陽光を利用した「おひさま発電所」が春日野園に設置完成の運びとなりました。大変有難いことでございます。
地域に育まれた保育園が情報発信基地となって、21世紀を生きる子ども達はもとより、多くの方々にとって環境学習や太陽エネルギーの大切さを学ぶきっかけの場ともなれば幸いです。そして美しい地球を次世代へ繋ぐお手伝いをご一緒に出来ます事を嬉しく存じております。

おひさま発電所って何？



まずは勉強。「おひさま発電所って何？」



保育士さん自作自演の人形劇「地球は泣いているよ。みんな何が出来るかな。」



地域の人にもよびかけました。(醍醐コミュニティバスに掲載されたポスター)



保育士さん手作りのおひさま新聞「みんなに伝わったかな。」

みんなでつくろう！



たくさんの絵の中から投票



「汽車はおひさまを未来に運んでいくなだよ。くもりの日にはねすみさん、晴れた日にはぞうさんの汽車まで電気がつくよ。」誰が見てもわかりやすい表示盤



「みんなでおひさまに感謝しよう！」おひさま発電所に協力・賛同していただいた方にお礼のシールをお渡ししました

きょうとグリーンファンド理事長 板倉 豊

春日野園おひさま発電所開設おめでとうでございます。省エネの推進と自然エネルギーの普及を目指すきょうとグリーンファンドが2000年に結成され、2001年に左京区法然院森のセンター（環境教育ビジターセンター、フィールドソサイエティー事務所）に1号機が設置されて以来春日野園おひさま発電所が7号機目になります。本プロジェクトには京都ライオンズクラブが50周年記念事業として資金面でご協力いただきました、また多くの善意のご寄付をいただいた市民や関係者のみなさまにもここに感謝申し上げます。春日野園は園近くを流れる日野川をとりこんだピオトープを作られる等、日頃から環境問題には深く関心をよせられる数々の取り組みが行われております。きょうとグリーンファンドやNEDO等の協力、助成で今回地球温暖化対策の重要な手法であるクリーンエネルギー創出方法を選択されたことは地域の環境教育拠点としての立場を明確にされと理解しております。きょうとグリーンファンドも微力ではありますが、環境教育のソフト面でのご協力をお約束し、春日野園おひさま発電所開設のお祝いの言葉といたします。

いよいよ点灯式……



パネルの裏におひさまをいっぱいかきました。設置後も見えますよ



パネルの前で「ハイ、チーズ！」これはみんなのパネルなんだよ。



はじめてのおひさま電気。歌やハーモニカでありがとうの気持ちをこたえました。



表示盤をお披露目。思わず拍手がおきました。
太陽のエネルギーがこぼれ出たプレート(杉の板)が贈呈されました。